

令和三年度

神奈川県公立高等学校入学者選抜学力検査問題

共通選抜 全日制の課程（追検査）

Ⅱ 国 語

注意事項

- 1 開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題は問五までであり、1ページから14ページに印刷されています。
- 3 答えは、解答用紙の決められた欄に、記入またはマークしなさい。
- 4 数字や文字などを記述して解答する場合は、解答欄からはみ出さないように、はつきり書き入れなさい。
- 5 マークシート方式により解答する場合は、その番号の○の中を塗りつぶしなさい。
- 6 解答用紙にマス目（例：

--

）がある場合は、句読点などもそれぞれ一字と数え、必ず一マスに一字ずつ書きなさい。なお、行の最後のマス目には、文字と句読点などを一緒に置かず、句読点などは次の行の最初のマス目に書き入れなさい。
- 7 終了の合図があったら、すぐに解答をやめなさい。

受 検 番 号

番

問一 次の問いに答えなさい。

- (ア) 次の1〜4の各文中の——線をつけた漢字の読み方を、ひらがなを使って現代仮名遣いで書きなさい。
- 1 絵の具で濃淡をつける。
 - 2 豊かな大地の恩恵を受ける。
 - 3 表現が曖昧な部分を直す。
 - 4 今以上に努力することを誓う。
- (イ) 次のa〜dの各文中の——線をつけたカタカナを漢字に表したとき、その漢字と同じ漢字を含むものを、あとの1〜4の中から一つずつ選び、その番号を答えなさい。

a 映画のハンケンを大切にしまう。

- 1 会社のショウケンを発行する。
- 2 日本の歴史をケンキュウする。

- 3 インケンなやり口を非難する。
- 4 リョウケンとして育てる。

b 未発表のイコウを出版する。

- 1 調査を専門業者にイニンする。
- 2 ジュウイとして動物と関わる。

- 3 近所にある神社のトリイは立派だ。
- 4 新たなイセキを発掘する。

c 選手がセイレッツする。

- 1 宇宙にはセイウンが広がっている。
- 2 キセイの服を買う。

- 3 セイコツインに通う。
- 4 ザイセイを立て直す。

d 実験の成功を心からヨロコぶ。

- 1 ギネンを晴らす。
- 2 ケーキをシマイで仲良く分ける。

- 3 シヤジを述べる。
- 4 キゲキを楽しむ。

(ウ) 次の例文中の——線をつけた「と」と同じ意味で用いられている「と」を含む文を、あとの1〜4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

例文 春が来ると暖かくなる。

- 1 大切なことを仲間と共有する。
- 2 速く走ると息が切れる。

- 3 洗濯物をきちんとたたむ。
- 4 遠足のためのおかしと飲み物を買う。

(エ) 次の俳句を説明したものとして最も適するものを、あとの1〜4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

(著作権上の都合により省略)

おの 林火

- 1 旅先で目にした花火があまりに美しく、床についてもその光景が想起されるほどの作者の感動を、情感豊かに描いている。

- 2 旅先で見た花火に人生を重ね合わせ、過去に戻って人生をやり直したいと願う作者の心情を、臨場感豊かに描いている。

- 3 旅先で見た花火に圧倒され、その鮮やかさが心に残ったために夢にまで見るさまを、現実と空想を対比して描いている。

- 4 旅先で休んでいたところ、花火の音が聞こえてきたために夏の訪れに気づくさまを、聴覚的表現を用いて描いている。

問二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

天文晩年のころ、甲州(注)の武田信玄(注)家来(注)に何某の大蔵左衛門といふものありけり。生得臆病至極のものにて、いつも合戦(注)ごとには癪(注)をおこし、眼をまはして、遂に劍戟(注)の中へ交じることなし。信玄家臣等の申

ししは、当時戦国の中にて、一人たりとも武功のものを望む中に、かの大蔵左衛門が臆病の至り、武家

扶持(注)すべきものにあらず。早々暇を給はるべしとありしに、信玄宣ふは、かのものいたし方ありとて、

信州戸石(注)の合戦の時、勝れたる逸物の馬に、大蔵左衛門を鞍(注)にくりつけ、血気の若もの大勢よりて、

馬の尻をたたき立て敵の中へ追ひ込みしが、馬はよく乗人の心を知るものなれば、大蔵左衛門が元来臆病

心に引かれて中戻りして、味方の陣へ引き返す。かくの通りにし給へども直らぬゆゑ、信玄思案のうへ、

かのもの家中の隠し目付を申し付けて、すべて悪事内密のことも遠慮なく直に申し上ぐべし。もし隠し

置き露頭に及ばば死罪に申し付くべきよし命ぜられけり。大蔵左衛門元来臆病者なれば、罪にあはんこと

を恐れて、明白に何ごとも聞き出だして、信玄の耳に入れしかば、大きに用立ちけるとなり。

某の人曰はく、この段老人の嘶(注)にて聞き置けり。誠に人を使ふもの、武田信玄などのごとくありたきも

のなり。塵あくたまでも捨つべきにあらず。捨つるは易く拾ふは難し。用に立つものは用ひ、用に立たざ

るものは捨つる人情なれども、今この物語のごとくにありたきものなり。

〔雨窓閑話〕から。

(注) 天文二年号の一つ(一五三二〜一五五五)。

甲州 現在の山梨県。

武田信玄 戦国時代の武将(一五二一〜一五七三)。

生得 生まれつき。

劍戟 刀剣による戦い。

扶持 働きに応じた対価を与えて家来として召し抱えること。

信州戸石の合戦 現在の長野県で起こった戦い。

逸物 群を抜いて優れているもの。

鞍 鞍、鐙どちらも騎乗する際用いる馬具の一種。

隠し目付 主人から命じられる役目の一つ。

塵あくた 値打ちのないもの、つまらないものこと。

(ア) 線1「早々暇を給はるべし」とあるが、それを説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 主人の考えが絶対である戦場においては、命令に背く者を雇うわけにはいかないということ。
- 2 疲れがたまつて体調の優れない者は、与えられた役目を果たすことができないということ。
- 3 戦果をあげる者が必要な現状においては、恐怖のあまり戦えない者は必要ないということ。
- 4 十分に体を休めて体調を回復してからでなくては、戦場に出ることはできないということ。

(イ) 線2「敵の中へ追ひ込みし」とあるが、「武田信玄」がそのようにした理由として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 馬の乗り手としては十分でない「大蔵左衛門」でも、戦いに慣れた血気盛んな家来たちと出陣することで、馬の乗り方を習得していくことができるようになるだろうと考えたから。
- 2 戦いに出た経験がなく戦うための方法を知らない「大蔵左衛門」でも、暴れている馬で敵陣に乗り込めば、最低でも敵をかき乱すことくらいはできるようになるだろうと考えたから。
- 3 戦地で頼る人がなく臆病になっている「大蔵左衛門」でも、人の気持ちを十分にくみ取れる馬に乗せることで、自信を持って戦いに臨むことができるようになるだろうと考えたから。
- 4 戦いが起こるたびに体に変調をきたす「大蔵左衛門」でも、強引に馬に乗せて敵陣に差し向けることで逃げられない状況にすれば、戦わなければならなくなるだろうと考えたから。

(ウ) 線3「もし隠し置き露頭に及ばば死罪に申し付くべきよし命ぜられけり。」とあるが、「武田信玄」がそのようにした理由として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 隠し目付として知り得たことを隠したことがわかれば死罪にすると警告したことで、「大蔵左衛門」の性質が有効に働き、集めた情報を報告する役目を果たすだろうと期待したから。
- 2 隠し目付として集めた情報に誤りが発見された場合には死罪になると覚悟させることで、「大蔵左衛門」が必死に行動し、戦いが有利に進む情報をもたらすだろうと期待したから。
- 3 隠し目付としての役目を果たさない者たちと親密な関係になれば死罪になると注意することで、「大蔵左衛門」が真面目に働き、周囲の信頼を得ることができるようと期待したから。
- 4 隠し目付としての役目を他の人に知られた場合は死罪になると脅しをかけることで、「大蔵左衛門」の行動に緊張感が生まれ、仕事の達成感を得ることができるようと期待したから。

(エ) 本文の内容と一致するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 「某の人」は、馬に乗って戦うことに臆病になっていた「大蔵左衛門」を「武田信玄」が根気強く説教したように、人の上に立つ者は人材を育てることに集中することが望ましいと述べている。
- 2 「某の人」は、戦いに向かない「大蔵左衛門」を見捨てなかった「武田信玄」のように、人の上に立つ者は様々な可能性を考えて根気強く適性を見極める方法を試すことが望ましいと述べている。
- 3 「某の人」は、戦う適性のない者を排除すべきではないという「信玄家臣等」の訴えを退けた「武田信玄」のように、人の上に立つ者は他人の意見を受け入れないことが望ましいと述べている。
- 4 「某の人」は、役に立たない者を処罰すべきだという「信玄家臣等」に賛同した「武田信玄」のように、人の上に立つ者は失敗をした者に厳しく対処する姿勢を持つことが望ましいと述べている。

問三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

東京オリンピックの開催が決まった日に高校生作家としてデビューした、大学四年生の「榛名忍」は、出した本が売れないという状況に陥っていた。新作の執筆に向け、同じ大学の陸上部で競歩を専門としている三年生の「八千代」を取材し、合宿に同行する。合宿中、指導者の「蔵前」から競歩への取り組み方について厳しい言葉をかけられた「八千代」は合宿所から出て行ってしまふ。浜辺で「八千代」を見つけた「忍」が声をかけると、長距離走から競歩への転向について「八千代」は話し始める。

(著作権上の都合により省略)

(著作権上の都合により省略)

(注) 反芻し繰り返し考えること。

(額賀^{ぬかが} 滯^{みお}「競歩王」から。一部表記を改めたところがある。)

(著作権上の都合により省略)

(ア) —線1「俺には価値が必要なんだ。」とあるが、そのときの「忍」を説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 陸上を続けるために競争に全力を注ぐという「八千代」の言葉を受けて自身を振り返り、満足のいく作品を書き続けることで作家としての自分のあり方を確かめたいと考えている。

2 陸上選手としての存在意義を競争に求めたという「八千代」の言葉を受けて自身を振り返り、作家として生きて行くためには書き続けるしかないということに思いを至らせている。

3 走るのが好きという思いを軸に陸上を続けてきたという「八千代」の言葉を受けて自身を振り返り、作家であり続けるためには書くことを好きでいなければならぬと再認識している。

4 長距離で結果を残せなかった後悔から競争を始めたという「八千代」の言葉を受けて自身を振り返り、新たな題材に挑戦することで作家として結果を残せるかもしれないと思っている。

(イ) —線2「胸の奥にいる怖いほど純粹な自分が、そうやって嘆いている。」とあるが、そのときの「忍」を説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 天才高校生作家という名に恥じない自分でありたいが、今の自分は周囲からの期待に応えられていないばかりか、自身が思い描いていたようにもなれていないと、客観的に顧みている。

2 天才高校生作家だと多くの人に認めてもらいたいが、自身が納得できるような作品を書きたいという思いの強さゆえに、周囲が求めている作品との差が生じていると、冷静に捉えている。

3 天才高校生作家という肩書きに満足していたが、他の作家との実力差を痛感し、持ち味を生かして評価を得るという理想を追い求めることには無理があったと、自身を見つめ直している。

4 天才高校生作家として活躍する自分を誇らしく感じていたが、今の自分は周囲からの評価や売上げばかりに目を向けて、自身の成長を客観視できずにいると、新たな気づきを得ている。

(ウ) —線3「不思議と頬が緩む。」とあるが、そのときの「忍」を説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 自分の話を親身に聞いてくれる「八千代」には、書きたいと思うものを素直に打ち明けられたと驚くとともに、優しさに触れたことで心にゆとりができた自分に安心している。

2 自分の辛さに理解を示してくれる「八千代」には、読者の興味を引く作品を書けない現実を隠さず言えてしまったと驚くとともに、自信を持ってない弱い自分を見つめ直している。

3 自分と似た苦しさを抱える「八千代」に対しては、書くものが受け入れられないことへの不安をさげ出せてしまったと驚くとともに、弱さを抱えている自分を受け入れてくれる。

4 自分と同じく辛い状況にいる「八千代」に対しては、世間の期待に応える作品を書くことへの諦めを話せてしまったと驚くとともに、余裕を持たせた自分をうれしく感じている。

(エ)

——線4「忍が言いたかったことは、八千代のその一言にすべて詰まっている気がした。」とあるが、そのときの「忍」を説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 自らのすべてをかけ、自身が納得するだけでなく誰もが素晴らしいと感じる小説を書くことで、作家として新しい自分を確立したいという思いを、「八千代」の言葉は気づかせてくれたと感じている。
- 2 自分を題材にして書くという王道の手段を取りながら、人々の予想を超える展開に書き上げること、作家として前進していきたいという思いを、「八千代」の言葉は表現してくれたと感じている。
- 3 作家としての自分に新たな価値を見つけ、再び読者の期待に応えるために、人々の心を動かせるような小説を生み出していこうという思いを、「八千代」の言葉は言い当ててくれたように感じている。
- 4 自らに新たな価値を見つけ出し、これからも作家として生きて行くために、挫折も含めた自らの姿を小説として書いていこうという思いを、「八千代」の言葉は言い表してくれたように感じている。

(オ) ——線5「それでも、今は、これ以外にわからないんです。」とあるが、ここでの「八千代」の気持ちをふまえて、この部分を朗読するとき、どのように読むのがよいか。最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 長距離を諦めたことに後悔を抱き始め、競歩で活躍できるかわからない中で、^{すうだい} 大きな目標を「蔵前」に伝えてよかったのかという迷いをにじませるように読む。

2 長距離への未練があることを自覚しながらも、競歩の選手として生きて行こうと決めた強い思いを、「蔵前」に訴え^{うた}るとともに自身にも言い聞かせるように読む。

3 競歩に打ち込むことに迷いがあり、長距離への未練を「蔵前」に素直に打ち明けることで、競歩で生きて行くよう後押ししてもらいたいという期待を込めて読む。

4 長距離を諦めなければならないと理解しつつ、競歩を志すのは本意ではないと感じていることを、「蔵前」には悟られないようにしようという思いを込めて読む。

(カ)

この文章について述べたものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 競歩で頂点を極めるという「八千代」の言葉を聞き、小説家として活躍したいという思いを大切に、人々の心を震わせるような新しい作品を書く^と決断した「忍」の姿を、会話を中心に描いている。

2 小説家として行き詰まりを感じていた「忍」が、苦しみを理解して励ましてくれた「八千代」のためにも、魅力^{みんち}ある小説を書き上げ再起すると心に決めるさまを、複数の人物の視点から描いている。

3 陸上が好きだからこそ競歩に全力を注ぐという「八千代」の話^を聞き、書くことが好きという原点に立ち戻り、小説家として再出発しようと決めた「忍」の姿を、場面の転換も交えて描いている。

4 小説家として生きること^に自信を失っていた「忍」が、挫折から再生へ向かおうとしている「八千代」に自身を重ね合わせ、新たな一歩を踏み出そうとするさまを、二人のやりとりを軸に描いている。

問四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(著作権上の都合により省略)

(著作権上の都合により省略)

(鈴木 董「文字世界で読む文明論」から。一部表記を改めたところがある。)

(注) オスマン帝国Ⅱ一三〇〇年ころに、現在のトルコに建国されたイスラム教の国家。

ルーティンⅡあることを確実にこなすための決まった手順や動作。

アインシュタインⅡ理論物理学者(一八七九～一九五五)。

ディストピアⅡ不安と絶望に満ちた想像上の世界。

イノベーションⅡ新しい技術や方法などを取り入れること。

(ア) 本文中の A B に入れる語の組み合わせとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 A ただし B ところで 2 A おそらく B だから

3 A たとえば B さらに 4 A また B しかし

(イ) —線1「我が日本の伝統的な文化」とあるが、それを説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 西洋をモデルとした近代化が進んできたなかでも、文明の多くの分野において独自の進化を遂げるとともに、現在では諸外国からの観光客に受容されている文化。

2 西洋をモデルとした近代化が進んできた一方で、文明の多くの分野において利便性を追求し続けてきたものの、現在では人びとの暮らしから失われている文化。

3 西洋をモデルとした近代化が進んできたなかでも、文明の多くの分野において独自の価値を守り続けるとともに、現在では異文化の人びとから見直されている文化。

4 西洋をモデルとした近代化が進んできた一方で、文明の多くの分野において特性を諸外国に発信してきたものの、現在では多くの国から受け入れを拒まれている文化。

(ウ) —線2「翻訳は最良の自己紹介となりうるのである。」とあるが、それを説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 日本の文化が改めて評価されている現状において、文化が発展した経緯^{けいゐ}について海外に発信することが、自国の魅力^{みらく}を再認識するための手段として最適であるということ。

2 日本の文化が改めて評価されている現状において、文学作品や学問の成果を外国語で発信することが、日本の文化を海外に伝えるための手段として最適であるということ。

3 日本の文化に注目が集まっている現代において、インターネットを使って日本食の魅力を発信することが、日本における食文化がいつそう発展するために必要だということ。

4 日本の文化に注目が集まっている現代において、文学作品の内容を外国語で発信することが、日本が発展してきた歴史的背景を諸外国が理解するために必要だということ。

(エ) —線3「そのような人材」とあるが、それを説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 西洋化をさらに推し進めようとする意識をもち、自国の発展を効率的に進めていく人材。

2 人材観を根本から見直していく意識をもち、人材育成の新たな視点を示すことができる人材。

3 科学技術を駆使^{くし}して新たな仮説を考え出し、科学の分野で諸外国に圧力をかけていく人材。

4 自らの考えで新たなものを生み出し、様々な分野で諸外国を先導することができる人材。

(オ) —線4 「異才」を拾い上げ育て上げる『視点』をもつことが必須であろう。」とあるが、その理由として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 「異才」がもつ長所を生かし従来型の「秀才」を排除することによって、日本における最先端の科学技術の追求が可能になるから。

2 「異才」を見つけ出して養成するシステムを構築することによって、日本が最先端のモデルになっていくことが可能になるから。

3 「異才」がもつ欠点を指摘して弱点のない人材として育成することによって、最先端の科学技術を開発することが可能になるから。

4 「異才」を従来の価値観に基づいて教育することによって、最先端の人材養成登用システムを完成させることが可能になるから。

(カ) —線5 「その利害得失をもう一度、根本的に見直してみることかもしれない。」とあるが、筆者がそのように考える理由として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 近代西欧の文明は多くの国に大きな利益をもたらしたが、資源を際限なく使用してきたことによって地球の環境が悪化したので、近代化を先導してきた西欧諸国の誤りを正す必要があるから。

2 近代西欧の文明は人類の生活を豊かにしてきたが、一部の人びとの労働環境が悪化したことによつて先行きを悲観する風潮が生じるようになり、問題が起きた要因を説明する必要があるから。

3 近代西欧の文明はめざましい発展に寄与してきたが、重大な環境問題を引き起こしたり雇用こぎよにおける新たな課題を生み出したりしたことで、未来への希望が持てない状況になりつつあるから。

4 近代西欧の文明は多くの技術を生み出したが、いまとなつては制御せいぎよできないほどに発展を遂げてしまい、人類にとつて都合の悪いことが起こっても放置せざるを得ない状況になりつつあるから。

(キ) —線6 「人類文明全般への悲観論の解消に資するのみならず、日本の将来についても、明るい展望を開きうる」とあるが、それを説明した次の文中の I ・ II に入れる語句として最も適するものを、本文中の▼から▲までの中から、I については四字で、II については二字でそれぞれ抜き出し、そのまま書きなさい。

日本が、文明を前進させるだけでなく、行き過ぎた結果に対して的確に対処するシステムの構築を推進していくことは、前進とフィードバックの I のとれた文明に到達することだけにとどまらず、日本が文明の II に立って他国の目標となることにつながり、幅広く活躍する国へと発展する可能性があると述べている。

(ク) 本文について説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

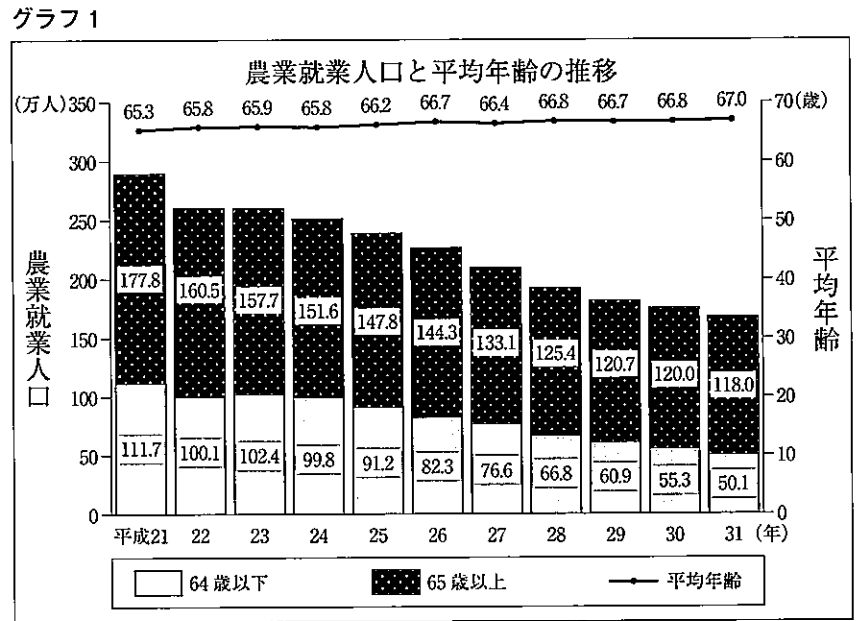
1 日本の近代化について振り返り、今後の人材養成のあり方に触れながら、文明を次の段階へと進める取り組みが日本を中心として行われれば明るい見通しが立つ可能性がある」と述べている。

2 天才を育てるための西欧の教育法について振り返り、日本も特異な才能をもつ人材の育成を進めている過程にあることに触れながら、文明の発展がさらなる豊かさをもたらすと述べている。

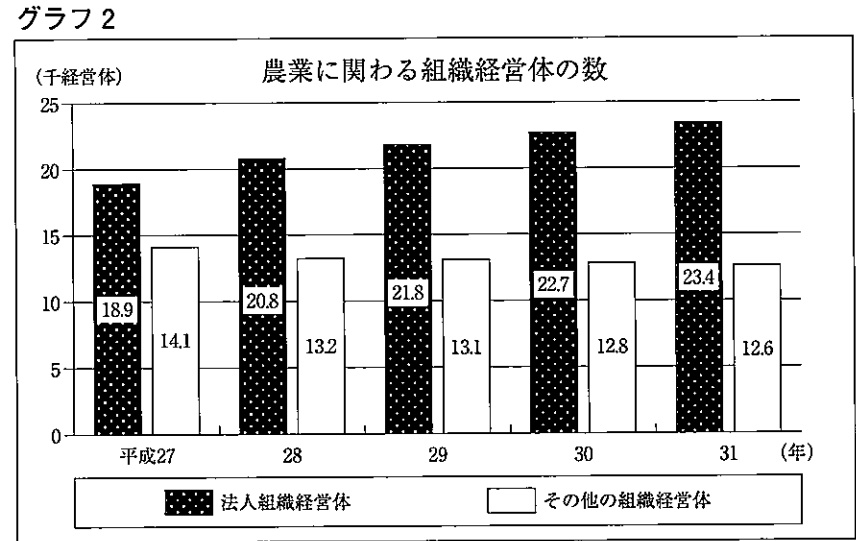
3 文明の発達が経済に与えた影響を振り返り、科学技術が発展し続けることの必要性に触れながら、発展の過程で生じる不都合な結果に迅速に対応できる機能を開発すべきだと述べている。

4 文明が進歩するなかで日本が独自の文化を保ってきた様子を振り返り、積極的に異文化を取り入れることの重要性に触れながら、さらなる文明の発展の可能性を考えるべきだと述べている。

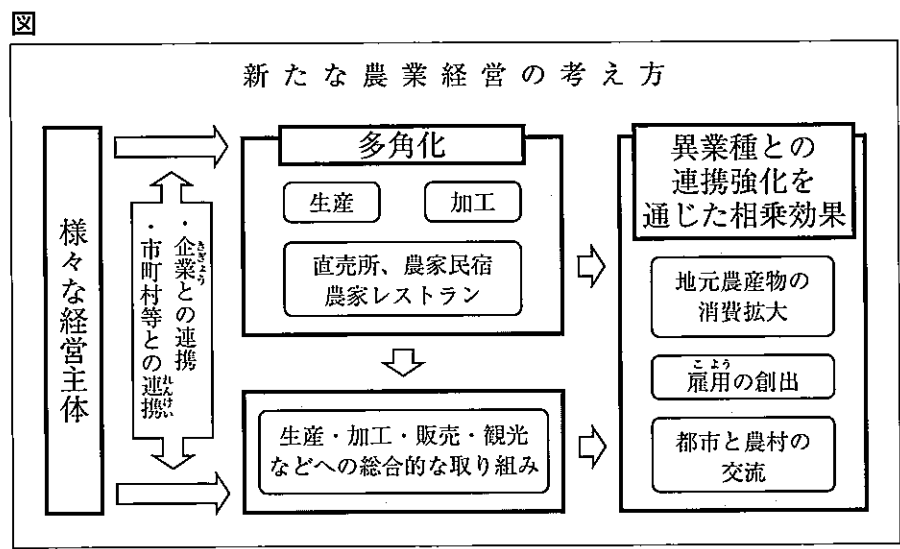
問五 中学生のAさん、Bさん、Cさん、Dさんの四人のグループは、「総合的な学習の時間」で日本の農業の現状について調べ、発表に向けて話し合いをしている。次のグラフ1、グラフ2、図と文章は、そのときのものである。これらについてあとの問いに答えなさい。



農林水産省「農業労働力に関する統計」より作成。



農林水産省「平成31年 農業構造動態調査報告書」より作成。



農林水産省「食料・農業・農村白書 平成20年版」より作成。

Aさん 今日、これまで調べたことをもとに、農業の活性化を進めていくためにはどうすればよいか、有効な手立てについて考えていきます。まずは現状を確認しましょう。

Bさん グラフ1を見てください。日本の農業就業人口と平均年齢の推移をまとめたものです。農業就業人口に注目すると、ことがわかります。

Cさん 平均年齢に注目すると、平成二十一年以降、一度も六十五歳を下回ることがなく、高齢化は日本の農業における問題の一つといえます。

Dさん そうですね。また、日本では自営で農業を行う人が大部分を占めていますが、農林水産省によると、近年では雇用される形で農業に従事する人の数が増加しているそうです。

Aさん 雇用される形で農業に従事する人が増加しているというのは、どういうことでしょうか。

Dさん それを考えるために、企業などの法人の数に注目してみました。ここでグラフ2を見てくださいます。複数の農家や企業が共同して農業を営んでいる組織経営体の数を、法人によるものとそれ

外のものに分けて示したものです。これを見ると、法人組織経営体の数は年々増加していることが読み取れます。

Bさん　そうですね。農林水産省の別の調査では、平成二十九年に農業に参入した企業の数は、平成十九年の十倍以上になったことが示されています。このような変化がなぜ生じたのでしょうか。

Dさん　その要因として法律の改正が考えられます。平成二十一年に農地法が改正され、一定の要件を満たせば、どのような企業でも農業に参入できるようになりました。

Cさん　なるほど。法人組織経営体の大部分を占める企業の農業への参入がうながされたことで、雇用される形で農業に従事する人の数も増えてきたんですね。このことは農業を活性化させるための手がかりとなりそうです。

Aさん　ところで農業経営の現場では、どのような取り組みが進められているのでしょうか。

Cさん　図を見てください。これは、農業に関わる人や団体などの様々な経営主体が、市町村等や企業と連携しながら、農業の活性化を進めていくための考え方を、模式的に表したものです。従来の農家は、農産物の生産と出荷を主に行っていたようですが、図を見ると、様々な形態の事業が示されています。

Bさん　私の近所でも農産物の直売所を見かけます。農家自らが直売所を運営しているそうですね。

Cさん　農村では、農家民宿を経営する農家が観光客に向けて農業体験を行っています。また、農家が自分たちで育てた農産物や地元の特産品を調理して提供する、農家レストランもあります。このような取り組みも、農業を活性化させるための有効な手立てですね。

Dさん　これまでの話をまとめると、グラフ2と図から読み取った内容から、農業の活性化を進めていくためには、 ことが有効だと考えられます。

Aさん　図では、農業のあり方の変化によって、地元農産物の消費の拡大や雇用の創出につながっていくことも示されています。そしてこのような変化は、農業だけでなく、連携する市町村等や異業種にも相乗効果を生み出します。農業の活性化についてさらに調べを進めて、発表に向けて準備していきましょう。

(ア) 本文中の に入れるものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 平成31年は平成21年と比べて、「農業就業人口」の総数が百万人以上減少している
- 2 平成31年は平成21年と比べて、「65歳以上」の数が二分の一以下になっている
- 3 平成31年は、「農業就業人口」全体に占める「65歳以上」の割合が八割を超えている
- 4 平成21年以降は、「64歳以下」の数が毎年十万人ずつ増加し続けている

(イ) 本文中の に適する「Dさん」のことは、次の①～④の条件を満たして書きなさい。

① 書き出しの「農業の活性化を進めていくためには」という語句に続けて書き、文末の ことが有効だと考えられます。という語句につながる一文となるように書くこと。

② 書き出しと文末の語句の間の文字数が二十五字以上三十五字以内となるように書くこと。

③ グラフ2と図からそれぞれ読み取った内容に触れていること。

④ 「法人組織経営体」「形態」という二つの語句を、どちらもそのまま用いること。

(問題は、これで終わりです。)

